

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会報告会・意見交換会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	議会事務局			
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組		主管課長	竹内 繁教			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	議員自ら市内に出向き、議会の状況を報告するとともに、市民からの意見を市政に反映できるように意見交換会を行う。
事業内容	年2回、各公民館等を会場に議会報告会を開催すると同時に、市民の方と意見交換会を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度 第1回目の議会報告会を開催 平成22年度 第2回目・3回目を開催 平成23年度 第4回目を開催 平成24年度 第5回・第6回目を開催 平成25年度 第7回・第8回目を開催 平成26年度 第9回・第10回目を開催			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	議会報告会・意見交換会参加人数	246	161	164	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・議員が自ら動き、議会報告会を運営することができている。 ・報告会のテーマを、市民に分かりやすいものが設定できるよう、試行的に常任委員会別で、報告会の班編成を行った。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		717,800	698,700	690,927			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		717,800	698,700	690,927			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	参加する市民がすべての報告会に参加できるよう、次年度も4班の開催日時を分散させて開催する。	③取り組みの課題	この2年間開催体制を検討し、常任委員会単位で実施した。新たな体制でも要綱どおりか、同様に体制を検討するかを協議が必要である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	年2回開催した報告会は、いずれも日時を分散させて開催した。	④今後の改善計画	集客増となるよう、周知方法を検討していく。